

教育講演会

《 テーマ 》 教育は共育

－ 子育ては親育て －

講師 (公財) 野村生涯教育センター

瀧間 弓恵さん

平成26年10月8日(水)に行われました教育講演に61名の方が参加されました。次ページより皆さんの感想をお聞きしましたので抜粋して載せさせていただきます。

- 私は瀧間さんと似ている所があり、人目を気にします。そのため、子供を叱る時後でグチグチ言ってしまうたりします。その場でちゃんと伝えなければいけないとわかっているけど、できません。主人に対しても、私のタイミングで頼んだ事をすぐにやってくれないことにイライラしたりもしました。自分の考えや都合をおしつけていたと反省しました。子供は親の背中をみて育つ・・・。おの通りだと思います。気づけば子供が私と同じしゃべり方をしていたりするのを見て、自分の行動や発言に気をつけようと改めて考えさせられるお話でした。とても参考になりました。
- 今回の講師の方のお話を聞いてよかったととても思いました。普通ならなかなか人には話せないような事も、お話いただけだったので、自分の子と重ね合わせて聞いて、私だけではないんだと安心できました。また、感謝を忘れない事と、子供の姿は自分の姿、という言葉がとても印象に残りました。私もまずは自分を見つめ直す事から始めようと思います。
- わかってはいるものの、やはり子どもたちが健康でいることは幸せなこと、感謝しなければいけないなあ・・・と思いました。また、私もいつも悩むのですが、子供への怒り方も大切だなあと感じました。毎日毎日、何度いっても繰り返し・・・その度に、怒ってしまうのですが、直らず・・・子供も思うところがあるはず。ちゃんと話も聞いてあげたいです。そして、出来るだけ一緒に遊んだり、スキンシップなどしてあげたいと思いました。幼稚園の御指導にとても助けられています。幼稚園で頑張った分、帰ってきたら、大きな心でむかえてあげたらなと思います。下の子を預けられたので、久しぶりにゆっくりと講演を聴くことが出来ました。ありがとうございました。
- 講師の方のお話を聴き、育児中はみんな同じような悩みを抱えているんだと知り、とても気持ちが楽になりました。『育児は一人でするものじゃない』『悩みは一人で抱えるものではない』とても大事なことですよね。これらは感謝の気持ちを常に持っていないと忘れてしまうと思います。悩むのも子供がいてくれるからこそ！これからも何かあっても家族、先生方、友人達の助けを借り頑張って過ごしていこうと思います。講演後、何か気持ちがスッキリした気がします。今後、子供も成長し『いじめ問題』に出くわす時があると思います。その時は、今回の講演がとても助けになる気がします。ありがとうございました。
- 家族がくつろげて快適に過ごすことの大切さ、子どもに影響することを、改めて考えることができました。

- 同じ世代の子どもを育てているお話だったので共感できるところが沢山ありました。同じ悩みを持っているんだなあ・・・と少し安心した時がありました。悩むことがあれば、1人で考えずにまわりの人の力をかりたり子どもの悩める所があるなら、まず親の行動を見直さなければ・・・と思いました。
- このような機会を通して、自分の育児はどうだろうかと振り返る事ができました。日頃から、子どもと共に成長していきたい、と思いながらやっていますがついバタバタに追われて、忘れてしまう事があります。しかし、改めて、自分の子を人の子と比べる事なく子どもを信じて、のびのびとマイペースにやっていきたいと感じました。子育ては親育て—この言葉を頭の隅において、今後も子育てを楽しみたいと思います。ありがとうございました。
講師の方が同世代ということもあり、私の失敗談と重なる点が多くありました。その場では、平然と過ごし家に帰ってから子供に「あの時はどうして〇〇してしまったの？」と問いつめたり・・・。親も失敗することばかり。子供の失敗を注意してばかりでなく、一緒に正していきたいなど改めて思いました。あと、旦那さんに優しく接しようと思いました。(笑) “笑顔のお母さん” でいられるよう母は頑張ります！出席できてよかったです。
- 瀧間さん、ご自身の経験からたくさんのお話を教えていただきました。実は私もこのところ、本当に子育てについて悩んでおり、日々悪循環で子供に冷たい態度をとってしまっています・・・。我が家も私の気分で雰囲気がかわっている毎日です。私も子供にこうしなさい、ああしなさい、これはダメ・・・と型にはめてしまったり、おしつけたりしまったりすることが多く、子供の気持ち、意見をもって大切にしなければいけないと反省させられました。でも、正直、どこまで子供にまかせていいのか、迷うところです・・・。親や周りの大人がしっかり教えたり、しつけたりしなければいけないこともたくさんありますし・・・。臨機応変に対応していくしかないのかなと思います。(それができれば、こんなに苦労はしてないのですが・・・。)親がおおらかに、たまには楽な気持ちでいれば、子供もゆとりをもって過ごせるのかな・・・とも思います。「教育は共育」・・・子供に教えてもらって自分も成長しているという自覚が私はまだまだ足りません。私の場合、子供をもっと信頼し、謙虚に接していかなければいけない毎日です。親の気持ち、接し方がみえないところで子供に伝わっていて、自分が思っている以上に子供は敏感で、よく親をみているということをもっと心にとめていきたいです。そして、どんなときもプラスに考え、感謝の気持ちを忘れないことを改めて心掛けなければ・・・と思いました。いろんなことに気付かせていただく機会を与えていただき、ありがとうございました。

- 小さい頃に思っていること、感情を出していくことの大切さを学びました。日頃、グズグズしていると、もう、うるさいなと思ってしまうこともあるけれど、しっかりきいたり、自分自身の接し方や、自分の問題を解決することが大切だと思いました。
- 講師の先生のお話を聞いて、子育てについて私もそうだったと共感することがホッとしました。反省する事もありました。その他に人に相談する事が大切だなあと思いました。これからは子育てで心配な事や困った事があつたら何でも相談しようと思います。講演を聞けてためになりました。
- 「親の影響って、思っている以上に大きいのだな」というのが、講演会が終わって一番感じた事でした。私の場合、自分の感情(特に負の感情)を子供達に出してしまう事が多いので、悪い影響が出そうで怖いのですが、だからといって、出さなくても子供に感じ取る事が出来る力があるのなら、ある程度は出しても良いのかもしれないと思いました。「親だから我慢する」のではなく「親の気持ち」を上手に子供に伝える事が出来たら、嬉しい事も、辛い事も親子で話し合える関係になれそうな気がしました。
- 今回初めて参加させて頂きましたが、講師の方も同じくらいのお子さんをもつママでしたので、何から何まで本当に共感できるお話ばかりでみんな同じ気持ちで子育てをそれぞれ頑張っているんだな〜と、しみじみ思いました。お話を聞いてから、子育ての中でいつものようにガミガミ怒りたくなる場面になった時、少し客観的にみて冷静に対応する事ができました。それもそう長くは続かないとは思いますが(笑)でも毎日忙しい中で、たまには子育てについてしっかり考える事も必要だな〜と思いました。
- 子どもは伸び伸び育ててほしいな、そんな思いをもちながら、日々の生活で自分に心のゆとりがないと叱るつもりが感情をあらわに怒ってしまうことがあるなど自分の子育てを見直すいい機会となりました。瀧間さんが、“自分の価値観を押しつけるのではなく子どもの意見を大切に”と話をされていました。まさにその通りだなあと思います。子どもが年中になり、自分の思いをぶつけてきたり、言い訳を試みたり、全身で訴えてくることが増えました。親の思いを押しつけてしまうのは簡単なようですが、子どもが納得するまでお互い時間をかけていくと、ときどき「そう考えるか、おもしろいなあ」と意表ついた思いをぶつけられることもあり、だんだん楽しくなります。“親の思い”と

- “子の思い”は(親子に関わらず)必ずしもいつも同じではないのでやはり“思いを口にする”はとても大事なことだとも感じました。人はまた、当事者たちだけでは解決できないこともしばしばあるかと思います。園長先生が園説明会や入園式、講演会など「何かあったらどんでん言ってください。子どものことだけでなく、家族のことで困っていることがあったら話してください。」そう話されていて、日常でもお会いすれば何かしら声をかけてくださるので心強いです。思いを口にしたいけれどもそういう場がなければ吐き出すことは難しいわけで、日常からそのような環境作りをして下さっている幼稚園に感謝し、子どもによって母親にさせてもらっていることを忘れず、子育てを楽しんでいきたいと思いました。
- みんないろいろがんばってるんだと思って安心することもありました。自分の考えをおそとおすことなく、子供や主人としっかりこれからもかかわっていきたいとおもいました。